

大きな地震の後は土砂災害がおこりやすくなっています

①危険な斜面、渓流に近づかない

亀裂のある斜面、崩壊した土砂のたまっている渓流などに近づかない

②少しでも危ないと感じたら避難しましょう

- ・ハザードマップを確認し、原則として、土砂災害警戒区域の外に避難しましょう（市町村の指定した避難場所、親戚・友人の家、宿泊施設等）

避難場所に避難できない場合の「次善の策」

- ・近隣の堅牢な高い建物（鉄筋コンクリート造等）の高層階へ移動
- ・自宅外への避難に余裕がない場合や、既に自宅の外が危険な状況の場合、斜面と反対側の2階以上の部屋に避難



県・地方気象台では危険が高まった場合、土砂災害警戒情報※を公表します

※震度5強を観測した地域では、土砂災害警戒情報の発表基準を引き下げた暫定基準（通常基準の8割）として運用しています。

市町村から避難指示が発令された場合は危険な場所から避難してください！